

分散利用・渋滞回避のお願い

- お客さまの移動される日程をずらしたり、出発時間を渋滞が予測される時間帯の前後にずらすなど、渋滞を避けた利用をお願いいたします。下記に渋滞回避事例をご紹介しますので、ご参考にいただき、ご利用になるルートをドライブコンパスでお調べいただきますと渋滞を加味した所要時間を確認することができます。

高速道路の料金・ルート検索は

ドライブコンパス

URL: <http://dc.c-nexco.co.jp/dc/DriveCompass.html>



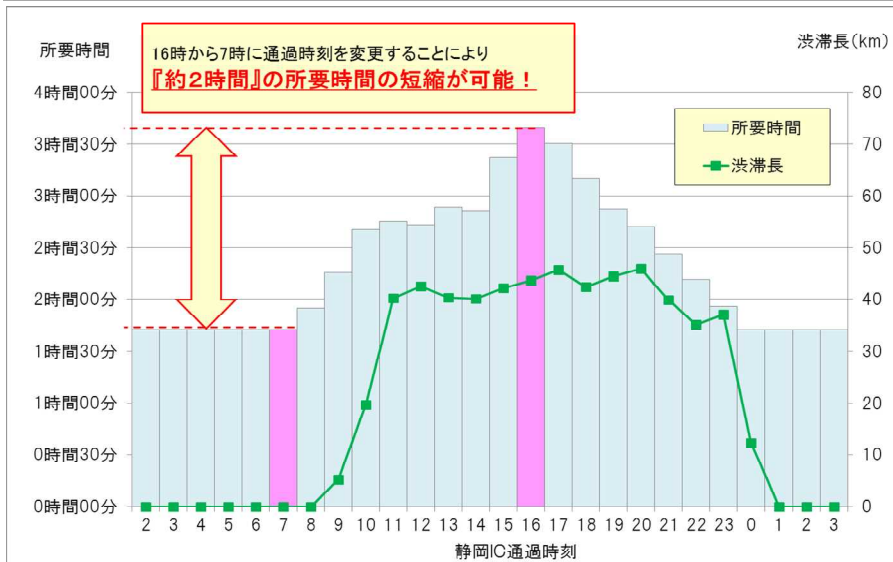
- 当社では、様々なツールで渋滞予測情報や道路交通情報を提供しておりますので、出発前には道路交通情報をご確認いただき快適なドライブ計画にお役立て下さい。詳細は、5ページをご参照ください。

《渋滞ピーク時間帯の回避効果》

過去の所要時間の実績で、通過時刻により所要時間が短縮される事例をご紹介します。移動される時間帯をずらしていただくことで渋滞を避けることができ、所要時間の短縮が可能でした。

- 例えば、2018年1月2日（火）に、E1東名高速道路（上り線）の静岡ICから東京ICまで利用された場合

◆ 静岡ICの通過時刻を16時から7時に変更することにより、『約2時間』の所要時間の短縮が可能でした。



《2018年1月2日（火）の東名の事例》

静岡IC通過時刻	東京ICまでの所要時間	最大所要時間との差
通常時※	約1時間43分	—
7	約1時間43分	1時間57分
14	約2時間52分	48分
15	約3時間23分	17分
16	約3時間40分	最大所要時間
17	約3時間31分	9分
18	約3時間11分	29分
19	約2時間53分	47分
20	約2時間43分	57分

※通常時とは、渋滞など発生していない順調走行時の所要時間をいう。

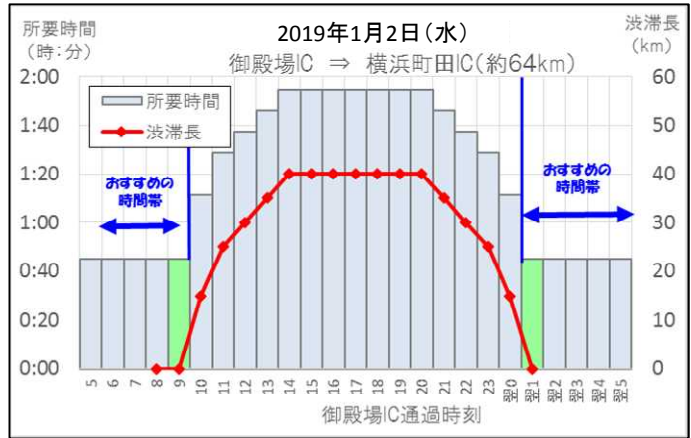
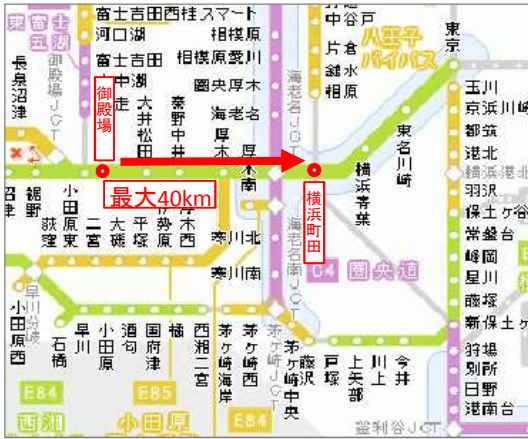
《渋滞ピーク時間帯の回避事例》

今年の期間中に、特に長い渋滞が予測されている渋滞の回避事例をご紹介します。移動される時間帯をずらしていただくことで渋滞を避けることができます。

※予測所要時間は、事故などの影響がない場合の時間を記載しています。

■1月2日（水） E1東名高速道路（上り線）大和トンネル付近を先頭とする渋滞〔最大40km〕

- ◆ 渋滞のピークは14～20時、渋滞がない場合に比べ約3倍（約2時間）の所要時間を見込んでいます。
- ◆ 御殿場ICを9時以前または翌1時以降に通過する場合の御殿場ICから横浜町田IC間の所要時間は約45分と予測しており、これら時間帯のご利用をおすすめします。

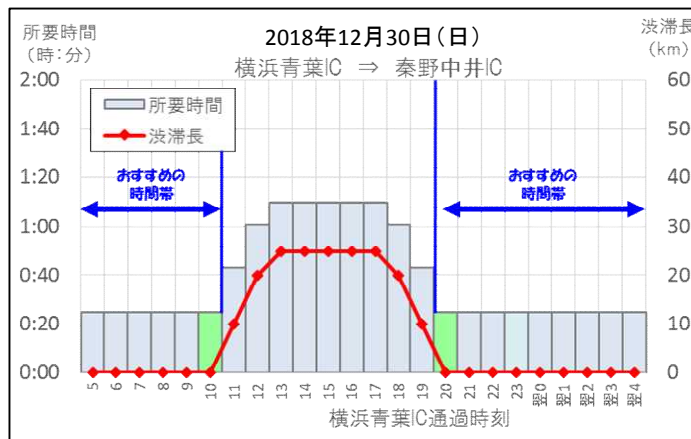


◆ 渋滞原因: サグによる速度低下

大和TN手前付近は下り坂から上り坂に変わるサグ部のため無意識のうちに速度が低下してしまいます。情報板で速度低下ポイントをお知らせしていますので、周りの車に気をつけ速度低下にご注意ください。

■12月30日（日） E1東名高速道路（下り線）伊勢原バス停付近を先頭とする渋滞〔最大25km〕

- ◆ 渋滞のピークは13～17時で、渋滞がない場合に比べ約3倍（約1時間10分）の所要時間を見込んでいます。
- ◆ 横浜青葉ICを11時以前または20時以降に通過する場合の横浜青葉ICから秦野中井IC間の所要時間は約25分と予測しており、これら時間帯のご利用をおすすめします。



◆ 渋滞原因: サグによる速度低下

伊勢原バス停付近は下り坂から上り坂に変わるサグ部のため無意識のうちに速度が低下してしまいます。情報板で速度低下ポイントをお知らせしていますので、周りの車に気をつけ速度低下にご注意ください。

休憩施設等での混雑対策の予定

渋滞予測や過去の交通混雑期（ゴールデンウィーク、お盆、年末年始など）の状況を踏まえ、特に激しい渋滞を予測している期間に、休憩施設などでの駐車場整理員の配置、臨時トイレの設置、大型車駐車場の確保などの混雑対策を実施する予定です。

渋滞緩和に向けたお願い

お客さまのちょっとした心がけで、渋滞を緩和し快適なドライブにつながりますので、以下のような運転をお願いいたします。

○上り坂でも同じ速度で走りましょう

- ・速度低下にご注意を！ 速度回復の表示を見たら、速度回復にご協力を！



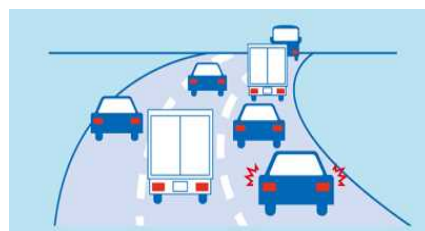
○車間距離をとりましょう

- ・走行中は、余計なブレーキを踏まないように十分な車間距離の確保を！



○車線変更を控えましょう

- ・渋滞は、追越車線から発生しますので、渋滞中における必要以上の車線変更は、更なる渋滞の悪化を招きます。



○ACC（アダプティブクルーズコントロール）搭載車両を運転される方へ

- ・走行車線で使いましょう！ 渋滞時は「車間：短め（Sモード）」設定で速やかに追従しましょう！

※ACCとは車両の前方に搭載されたレーダーが先行車との車間距離を計測し、速度に応じた一定の車間距離を保つシステムです。ACCを上手に活用することで渋滞を緩和できる可能性があります。

詳しくはこちら : <http://www.nilim.go.jp/lab/qcg/japanese/2research/1field/36smoothingsag/index.htm>

(国土交通省 国土技術政策総合研究所)

ACCについて : <http://jaf-acc.jp/> (日本自動車連盟 (J A F))

冬の高速道路は雪用心

冬の高速道路では、突然の大雪に見舞われることがあります。気象等の情報を十分確認いただくとともに、冬用タイヤでのご走行に加え、いざという時のために、タイヤチェーンを携行してください。

冬の雪道は、乾燥路に比べて滑りやすくなっています。

このような路面では『急』の付く運転（急ハンドル、急加速、急ブレーキ）は大変危険です。速度を控えめに、十分な車間距離をとって安全運転を心掛けてください。



渋滞（予測）情報の提供

出発前やご旅行中に、是非ご利用いただき快適なドライブ計画にお役立て下さい。

(1) 渋滞予測情報

①NEXCO中日本公式WEBサイト

渋滞の発生箇所、時間帯ごとの渋滞長、渋滞ピーク時の時刻などがわかりますので、ご旅行計画にご活用ください。[<http://www.c-nexco.co.jp/>]

・高速道路料金・ルート検索

[<http://dc.c-nexco.co.jp/dc/DriveCompass.html>]

高速道路の料金・ルート検索は

ドライブコンパス®

URL: <http://dc.c-nexco.co.jp/dc/DriveCompass.html>



・渋滞発生箇所、時間帯ごとの渋滞長、お出かけに役立つ情報

[<https://www.c-nexco.co.jp/odekake/>]

渋滞予測・お出かけガイド

検索



・6カ月先までの渋滞発生箇所、時間帯ごとの渋滞長

[<http://www.c-nexco.co.jp/jam/>]



・東海地区の渋滞情報を詳しくご紹介

[<http://suisui-navi.jp/>]

渋滞予測がひと目でわかる「渋滞スイスイレーダー」など便利なコンテンツをご用意しています。

②「渋滞予測ガイド」（詳細は〔別紙-4〕をご覧ください。）

高速道路の各SAのエリア・コンシェルジュや料金所事務室などでお配りしています。

渋滞予測ガイドは、公式WEBサイトでもご確認いただけます。

③駐車場の混雑が予想される休憩施設は〔別紙-2〕をご覧ください。

(2) 現在の道路交通情報

①日本道路交通情報センターの道路交通情報

WEBサイト[<http://www.jartic.or.jp/>]や電話〔別紙-3〕でご確認ください。

②i Highway 中日本（アイハイウェイ中日本）

[<http://c-ihighway.jp/>]

アイハイウェイでは通行止が発生又は解除した際にメールでお知らせする「マイルート機能」などをご利用いただけます。



③ハイウェイテレホン（電話番号は〔別紙-3〕をご覧ください。）

携帯電話から「#8162〔はーい、無事(帰る)〕」におかけいただくと、その場所から最も近い地域の高速道路情報が音声で入手できます。

※音声によるハイウェイテレホンと合わせ携帯電話のWebサイトでご確認いただける、

「目で見えるハイウェイテレホン」もご利用ください。

[<http://www.c-nexco.highway-telephone.jp/main/>]



なお、自動車運転中のドライバーの携帯電話の使用は法律で禁止されています。ご利用の際はサービスエリアやパーキングエリアにてお願いいたします。

お客さまへの安全走行のお願い

当社が管理する高速道路では、2017年1月から12月末までに40件の交通死亡事故が発生しました。特に、高速道路上で「人」がはねられる事故や、高速道路を逆走したことによる事故は重大な結果を招く可能性があります。

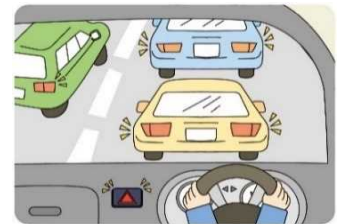
なお、NEXCO中日本公式WEBサイトでは、高速道路を安全で快適にご利用いただくための様々な情報がご覧いただけます。 [<http://www.c-nexco.co.jp/safety/>]

《安全走行に関するお願い》

- ① 渋滞後尾で停止・減速する際はハザードランプを点灯して後続車に合図
- ② 前方の停止車両や人に要注意
- ③ 情報板やハイウェイラジオなどでこまめに道路交通情報をチェック
- ④ 故障や落下物を防ぐため、出発前には必ず車両と積荷を点検

《渋滞末尾での追突事故にご注意を》

渋滞時には、渋滞の車列の中や渋滞末尾で追突事故や接触事故が発生しています。渋滞末尾に近づいた際にはハザードランプを点灯し、後続車に合図を送るとともに前車との車間距離を十分に確保して、追突事故の防止にご協力ください。



《高速道路の逆走にご注意を》

行き先や出口間違いをした際のUターンなどにより、高速道路を逆走した車両が関係する重大事故が発生しています。

万が一、逆走車両を発見した場合は、料金所やサービスエリア・パーキングエリアなどの安全な場所から、110番で通報をお願いいたします。

逆走車両の情報を見聞きした場合は、速度を落とし、十分な車間距離をとって、前方車両の動向を注視しましょう。逆走車両は追い越し車線を走行する傾向があります。

高速道路をご利用される際には、標識や路面標示をご確認いただき、指定された方向への走行をお願いいたします。

また、逆走をしてしまった場合には周囲を確認したうえでハザードランプを点灯して停止し、安全な場所から速やかに110番や非常電話で通報※をお願いいたします。



目的のインターチェンジを行き過ぎてしまった場合は、高速道路上でバックやUターン（転回）はせず、そのまま走行し、次のインターチェンジで降りてください。インターチェンジ出口では料金所スタッフがいるレーンをご利用いただき、料金所スタッフにお申し出ください。目的のインターチェンジまでお戻りいただけるようご案内しますので、料金所スタッフの指示に従ってください。その際の通行料金は当初流入インターチェンジから目的のインターチェンジまでの通行料金となります。インターチェンジの構造などによっては対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※「故障車」や「落下物」・「道路の破損」などを見つけたら

『#9910』にて通報願います。

《全席シートベルトの着用を》

高速道路上の事故では、シートベルトを着用していない乗員が、衝突の反動で車の外に投げ出されて死亡する事故が毎年報告されています。必ず全席シートベルトの着用をお願いいたします。



《高速道路上の停止車両や、車外に出ている人にご注意ください！》

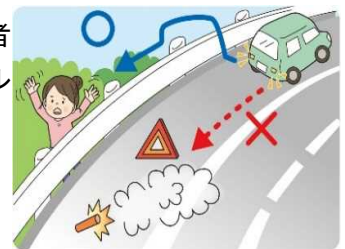
渋滞や故障、事故などにより停止した車両に後続の車両が追突する事故や、故障や事故などの様子を確認するため車外に出ている人がはねられる事故が多発しています。

《高速道路上で停止した場合は》

事故や故障などにより万が一高速道路上に停止してしまった場合は、ハザードランプを点灯するとともに、発炎筒・停止表示器材を車の後方に無理のない範囲で設置し、後続車へ合図してください。（設置する際は車線から離れ、ガードレールなどの防護柵より外側の安全な場所を通って移動してください。）

また、車内や道路上にとどまるのは大変危険ですので、運転者も同乗者も全員、通行車両や足元に十分に注意して、自車より後方のガードレールなどの防護柵より外側の安全な場所へ避難してください。

避難後は、110番や非常電話、道路緊急ダイヤル（#9910）などで通報をお願いいたします。



《落下物にご注意ください！》

落下物の責任は落とした人にあります。出発前やサービスエリアなどでの休憩時には、車両の点検を行い、荷物を積載する場合はシートをかけてロープでしっかり固定するなど、走行中にゆるんだり、落下させたりしないよう注意してください。

落下物を見つけた場合は、安全な場所から道路緊急ダイヤル（#9910）に通報をお願いいたします。通報を受け、高速道路会社の道路管制センターが道路情報板に「落下物注意」の情報を流すとともに、交通管理隊が落下物を回収します。

《「あおり運転」は絶対にやめましょう！》

前方の車に極端に接近して運転するなどのいわゆる「あおり運転」は、大変危険です。

車を運転する際は、周りの車の動きなどに注意し、安全な速度での運転を心掛け、十分な車間距離を保つとともに、無理な進路変更や追い越しは絶対にやめましょう。

危険な運転者に追われるなどした場合は、サービスエリアなど、交通事故に遭わない安全な場所に待避するとともに、ためらうことなく警察に110番で通報してください。

交通ルールを守った、思いやり・ゆずり合い運転を心掛けていただきますようお願いいたします。